

新土産 かまぼこ登場



室戸・廃校水族館 「ウミガメ形楽しんで」

旧校舍などを生かしたウミガメなどの展示で人気を集める「むろと廃校水族館」(室戸市室戸岬町)に、ユニークな土産物が加わった。カメの形をした「かまぼこ」ならぬ「かめぼこ」で、10日から販売する。新たな「仲間」の登場に、同館は「薄く切って汁物にのせたら、まるで本当にカメが泳いでいるよう。子どもから大人まで楽しめるはず」とPRしている。(大島渉)

地元の老舗と協力

昨冬、地元の老舗「山本 かまぼこ店」(山本正幸社長)と商品の取り扱いについて協議した際、水族館の若月元樹館長が「カメの形をしたかまぼこを作ってみたらどうか」と提案。今年2月に店が試作品を作ったところ好評で、販売が決まった。

かめぼこは、大きさ約10センチ、厚さ約2センチで、成形は専用の型を導入した。土

地元かまぼこ店との協力で生まれた新しい土産物「かめぼこ」(室戸市で)

産として持ち帰りしやすいようにと、冷蔵ではなく、常温で3か月保存可能な真空パック方式を採用した。山本社長は「むろと廃校水族館初の認定商品です。次は紅白のかめぼこを作りたい」と意欲を見せる。

パッケージに貼ったシールの原案は水族館が考案。「鶴は千年、亀は万年 ツルツル飲まずよくカメカメ」「早めにお召し上がりいただけなかった場合、海へ向かって歩き出す可能性は否定できません」の文言が入るなど、遊び心いっぱい仕上げた。

若月館長は「漁師町の室戸らしいお土産。ウミガメは縁起物で、子どもにも大人にも喜ばれる。いつか、水族館で行う予定の『給食』でも出したい」と話している。

1個250円(税込み)。